

令和8年6月26日

世田谷区福祉人材育成・研修センター 研修室 A

世田谷区介護サービスネットワーク（介護事業者連絡会）

令和8年度 総会 次第

□ 進 行 次 第 □

- 1 開 会 18時30分
- 2 あいさつ 世田谷区介護サービスネットワーク 代表 徳永 宣行
- 3 議長選出
- 4 議案第1号 令和7年度事業報告及び決算について
- 5 監査報告
- 6 議案第2号 令和8年度事業計画及び予算について
- 7 議案第3号 令和8年度運営委員及び監事について
- 8 議長解任
- 9 情報提供 「世田谷区介護事業者経営改善支援事業」
令和7年度実施結果の報告及びその他支援事業について
世田谷区高齢福祉部高齢福祉課介護人材担当： 大道係長
〃 介護保険課事業者支援担当： 安田係長
- 10 その他
- 11 閉 会 20時00分(予定)

令和 7 年度 事業報告及び決算について

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで)

I 事業活動の総括と会員の状況

介護保険制度開始から 25 年が経過し、介護現場を取り巻く環境は激変している。その中で当ネットワークは、運営委員を中心に「会員のメリットになる活動」を追求し続けてきた。昨年度も各部会が中心となり、人と人の繋がりを再構築すべく活発に活動することができた。オンラインも定着し、様々な形で「顔の見える関係づくり」が進んでいる。また、報酬改定や人材不足解消に関する意見を世田谷区へ提出するなど、当ネットワークに求められる役割も変化し、その重要性を増している。これまで通り事業所間の連携は必要不可欠であり、発足当時から研修会や交流会などを中心にネットワークを広げてきた。それでも会員数の減少が課題となり、できるだけ多くの事業所に参加してもらうためにも、会費を徴収せずに運営してきた。その効果もあり会員数は 70 事業所の増加があった。介護サービスの質の向上は、本ネットワークの事務局でもある世田谷区福祉人材育成・研修センターが多種多様な研修の企画運営をしてくれている。

会員数は年度末において正会員・準会員が 2 5 8 事業所であった。

令和 7 年度の事業活動の円滑な運営を図る為、各部会及び事務局から推薦され運営委員により運営委員会が開催され、当会規約に則って事案を審議した。

最後に、事務局である世田谷区福祉人材育成・研修センターから組織運営に関して多大なるお力添えをいただいたことを記して感謝したい。

代表	徳永 宣行 (研修グループ)
副代表	磯崎 寿之 (研修グループ)
同	菊本 浩三 (通所介護連絡会)
同	山口 慶恵 (訪問介護連絡会)

II 設置委員会および部会の年度当初計画

1 委員会（小委員会を含む）

名称	目的	主な活動内容（当初計画）
運営委員会	介護サービスネットワークの円滑な運営	定期運営委員会を月1回開催する。また必要に応じて臨時運営委員会を開催する。会議はオンライン会議を中心にハイブリットなどの集合型も再開できるようにする。
地域部会調整小委員会	地域部会の円滑の運営	世田谷、北沢、玉川、砧、烏山の各地域部会の運営のサポートを行う。 部会と講演会の共同企画・運営を行う。
広報渉外小委員会	会員間の情報交換と対外的情報発信 介護サービスネットワークの宣伝活動、その他の関係団体との交流等	ホームページの情報更新、企画・運営を行う。会員章を作成する。毎年11月に発行予定の介護サービス事業者ガイドブック（ハートページ）の監修を行う。
災害対策小委員会	災害への対応策と連携方法の検討	世田谷区と締結している、災害時協力協定の見直し改定を検討する。 世田谷区との災害時連携、地域との連携等ワークショップ形式で行う

2 課題別部会

名称	目的	主な活動内容（当初計画）
研修グループ	介護の楽しさや醍醐味を周りの人に伝えることのできる人材の育成を目指す。	世田谷区福祉人材育成・研修センターが開催する研修へ参加協力をする。
せたがや通所連絡会	介護保険法の解釈や事業運営に関することや介護の疑問点や他事業所での試み等、普段役に立つ情報を共有し、介護職員の質の向上を目的として活動している。	今年度はインターネット交流会を定期的に企画し、緩やかな参加、退席自由形式で行う事で自由な参加、自由な討論の場を設け、活動の新たな展開を図りたい。
せたがや訪問介護連絡会	会員相互の情報共有や意見、要望を区に提言する仕組み等を通じて、サービスの標準化や共通する課題解決に協働して取り組む環境を実現する。	若手幹事の募集・育成を促進する施策を実施する。また訪問介護員が参加できるイベントを通じて、会員の交流を図る。 （ア）若手幹事の募集・育成に寄与する幹事会の運営。 （イ）多職種との連携に係る取組。
せたがや福祉用具連絡会	せたがや福祉用具連絡会は福祉用具専門相談員の資質向上、福祉用具の普及啓発活動、新しい福祉用具に関する情報の共有、医療職・介護職等との連携強化に取り組む。	（ア）福祉用具の使用法習熟のための研修を開催する。 （イ）介護関係者等を対象とした福祉用具の出張研修を開催する。 （ウ）おしごと相談会での福祉用具紹介や小中学校での福祉用具体験に参加予定。

3 地域部会

名称	目的	主な活動内容（当初計画）
世田谷地域部会	世田谷地域での会員の連携と親睦	「介護事業者管理者向け連続講座パート2」（毎月開催）を通して職場の課題解決のための方法を学ぶ。 地域防災活動等に参加し、地域住民・行政を含めた災害対策を発展させる。 世田谷地域部会の会員相互の情報・意見交換と意見集約の機会をつくる。
北沢地域部会	北沢地域での会員の連携と親睦	地域事業所間の顔の見える関係を強化する。「地域包括ケアシステム」の視点で地域事業所と地域住民との関係づくりを構築することを目的として、雑居祭りへの参加やスマホ教室、福祉講座、満足院除夜、新年会など集いの場を年2～3回設ける。
玉川地域部会	玉川地域での会員の連携と親睦	地域で活動する事業所や地域住民の方との関係づくりを目的とし、地域の方が参加できるイベントや納涼会や忘年会を企画する。
砧地域部会	砧地域での会員の連携と親睦	砧地域ご近所フォーラムへの協力。
烏山地域部会	烏山地域での会員の連携と親睦	部会員より活動再開を望む声もあり、ひとまず集ってみること、気楽な交流会から始めてみたい。烏山地域の特徴として、烏山病院、松沢病院といった大きな精神科病院があるといったことがあり、障害者支援への理解を深めることは、今までと同様に続けていきたい。今後、各々仕事に差し支えない範囲でどういったことができるのか検討しつつ、まずは多職種で気楽な意見交換のできる場の設定ができればと考えている。

Ⅲ 活動報告

1 総会

- 開催日時 令和7年6月25日(金)18:30～
- 会場 世田谷区福祉人材育成・研修センター 研修室C及びオンライン
- 表決事項 議案第1号 令和6年度事業報告及び決算について
議案第2号 令和7年度事業計画及び予算について
議案第3号 令和7年度運営委員及び監事について
- 表決結果 上記全ての議案について賛成多数で可決された
- その他 大久保製作所より、訪問介護連絡会と制作協力したポンチョの寄贈があった。

2 運営委員会

委員名簿（順不同）

役員（委員）	名前	事業所名	選出
運営委員長※1	徳永 宣行	ナイスケア世田谷介護センター	研修グループ
副運営委員長※2	山口 慶恵	山口ケアサービス	訪問介護連絡会
副運営委員長※2	磯崎 寿之	ほほえみの木々	研修グループ
副運営委員長※2	菊本 浩三	タガヤセ大蔵デイ	通所連絡会
会計担当者	丸茂 典子	セントケアりまいん世田谷	福祉用具連絡会
会計担当者	後藤 香里	そよかぜ訪問看護ステーション上北沢	烏山地域部会
	塚越 典子	タウンライフケア桜上水	訪問介護連絡会
	柴田 剛宏	リハビリテーション GEN。	通所連絡会
	糸谷 和司	トーカイ	福祉用具連絡会
	上保 恭子	すまいる梅丘	世田谷地域部会
	丸山 幸	みのりの庭 世田谷	世田谷地域部会
	小林 真介	個人会員	北沢地域部会
	水口 博幸	梅ヶ丘駅前介護保険サービス	北沢地域部会
	佐伯 正和	ヒューマンケア	玉川地域部会
	南部 恵美子	玉川ケアサービス	玉川地域部会
	石川 容堂	バイタル訪問鍼灸マッサージ	烏山地域部会
	富樫 恵	世田谷区社会福祉事業団	

※1 本会規約第7条第1項及び第11条第6項の規定により当会代表として選任

※2 本会規約第7条第1項及び第11条第6項の規定により当会副代表として選任

活動日誌

開催回	年月日・会場	主な内容
第1回	令和7年4月15日 (リモート開催)	令和8年度の運営について、会費徴収をしない。運営委員の募集について、6月開催に総会について
第2回	令和7年5月20日 (リモート開催)	令和7年度活動報告について、総会について 介護サービス経営改善支援について、会員募集について
第3回	令和7年6月17日 (リモート開催)	総会の開催について、令和7年度の活動について、世田谷区人材対について
第4回	令和7年7月22日 (リモート開催)	世田谷区への要望書提出について、会員事業所への通知について、永年表彰・合同入職式について
第5回	令和7年8月26日 (リモート開催)	介護情報基盤について、世田谷区議会議員との意見交換について、せたがや福社区民学会について、
第6回	令和7年9月19日 (リモート開催)	災害時協力協定見直しについて、雑居祭り参加について、ポンチョの活用について、会費について
第7回	令和7年10月21日 (リモート開催)	介護情報基盤について、ホームページ監修について、各部会活動について、区議会への働きかけについて
第8回	令和7年11月18日 (リモート開催)	第10期計画の委員推薦について、来年度報酬改定について、災害対策小委員会について、部会活動について
第9回	令和7年12月16日 (リモート開催)	報酬改定について、ケアプランデータ連携について、補正予算について、地域部会活動について
第10回	令和8年1月20日 (リモート開催)	処遇改善加算改定について、介護情報基盤について、地域部会の連携活動について、来年度の活動について
第11回	令和8年2月17日 (リモート開催)	職場環境等の要件について、メール情報便について、来年度以降の活動のあり方について、部会活動報告
第12回	令和8年3月17日 (研修センター)	報酬改定について、災害時協定について、来年度以降の活動について、研修センターシンポジウムについて

3 小委員会

① 地域部会調整小委員会

活動報告。

各地域部会で活動はあったが、小委員会としての活動はなし。

② 広報渉外小委員会

活動報告

令和7年11月発行のホームページの監修を行った。

③ 災害対策小委員会

活動報告

「災害時協力協定」の見直しに向けて、新たなメンバーを募り話し合いを始める。

4 課題別部会

① 研修グループ

活動報告

世田谷区福祉人材育成・研修センターが開催している研修に、会員事業所が積極的に参加するように促し、研修グループ自体のあり方について協議した。

介護事業者管理者向け連続講座は世田谷地域部会よりネット全体開催に移行し継続している。

講座報告「介護事業者管理者向け連続講座第3期」

開催回	年月日	主な内容①基礎コース②PDCA コース(全会場・うめとぴあ研修室)
第1回	令和7年5月15日	①「組織とは」「組織の課題」 ②講座「PDCAとは」「5Sとは」
第2回	令和7年6月19日	①「リードとマネジメント」「コミュニケーション」 ②目標案づくり
第3回	令和7年7月17日	①「マニュアルとは」「リスクマネジメント」 ②実行案づくり
第4回	令和7年8月21日	①「幹部の条件」「マネジメント」 ②職場への働きかけ
第5回	令和7年9月18日	①「人間科学の視点から介護を考える」 ②グループ内意見交換
第6回	令和7年10月16日	①事業所管理職に必要な「能力」と自己認識 ②目標の修正
第7回	令和7年11月20日	①事例分析～対策～ ②実行と修正
第8回	令和7年12月18日	①事例分析～対策～ ②グループワーク
第9回	令和8年1月15日	①PDCA作成へ ②PDCA完成
第10回	令和8年2月19日	振り返り - - 成果と今後の展開について①②共通
第11回	令和8年3月19日	振り返り発表①②共通

② せたがや通所連絡会

活動報告

通所連絡会の運営メンバーで、今後の活動について協議をした。

③ せたがや訪問介護連絡会

活動報告

幹事会を毎月第2金曜日に開催した。また下記の学習会の開催、イベントに参加した。

- ・令和7年4月22日 大久保製作所(自転車アイテム企業)からの暑さ対策の商品提案と、600枚のポンチョ寄付の打ち合わせ
- ・令和7年5月9日 定例ミーティング(7月のイベント打ち合わせ)
- ・令和7年6月2日「生涯のパートナーシップ」社保協との共同研修開催
- ・令和7年7月17日 区長懇談出席(緊急安全経営事業給付金実施の依頼)
- ・令和7年10月10日 定例ミーティング
- ・令和7年11月14日 定例ミーティング
- ・令和8年1月9日 定例ミーティング
- ・令和8年3月13日定例ミーティング(本年度の振り返り他)

④ せたがや福祉用具連絡会

活動報告

幹事会はラインにて随時打合せした。

あんしんすこやかセンターや世田谷区福祉人材育成・研修センターなどからの依頼で、講習会やイベント等で福祉用具に展示や体験など参加協力をした。

定例会開催：4月16日、6月11日、8月14日、9月24日、12月11日、2月12日

令和7年6月28日 おしごと相談会 展示 北沢タウンホール
 令和7年7月9日 鷗友学園 車いす体験
 令和7年7月26日 太子堂小学校サバイバルキャンプ 車いす体験 社協
 令和7年8月19日 男性介護者交流会 参加 北沢あんしんすこやかセンター主催
 令和7年8月30日 おしごと相談会 展示
 令和7年10月1日 おしごと相談会 展示 うめとぴあ
 令和7年10月12日 雑居祭り 福祉用具展示 羽根木公園
 令和7年10月18日 うめとぴあフェスタ 福祉用具展示
 令和7年10月25日 きたざわまつり「ハワイアン」コーラス参加 北沢タウンホール
 令和7年10月26日 きたざわまつり 福祉用具展示
 令和7年11月21日 桜木中学校 防災訓練 車椅子体験 上町あんしんすこやかセンターより
 令和8年1月17日 太子堂 防災まち歩き 車いす提供参加 太子堂あんしんすこやかセンター
 令和8年1月24日 昔あそび 参加 北沢あんしんすこやかセンター
 令和8年1月28日 福祉のしごと 福祉用具展示 玉川せせらぎホール
 令和8年3月13日 福祉用具連絡会 車いす研修「チルトリクライニングとシーティング」

5 地域部会

① 世田谷地域部会

活動報告

- ・昨年度からの継続事業として「介護事業者管理者向け連続講座」を毎月第3木曜に計11回開催した。
今年度より介護サービスネットワーク全体事業としての位置づけでの開催とした。

② 北沢地域部会

活動報告

幹事会を毎月開催した。

【定例ミーティング】

令和7年4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10月17日、11月21日
12月19日、令和8年1月16日、2月20日、3月13日

【イベント】

- ・令和7年7月12日 第1回スマホ講座（於いて：アライブ世田谷）
- ・令和7年10月12日 雑居祭りにてブース出展（介護終活相談・アロマハンド・福祉用具）
- ・令和7年11月8日 第2回スマホ講座（於いて：アライブ世田谷）
- ・令和7年12月31日 除夜の鐘（於いて：満足院）

③ 玉川地域部会

活動報告

なし

④ 砧地域部会

活動報告

なし。

⑤ 烏山地域部会

活動報告

- ・なし。

IV 収支決算書及び財務帳票

事業活動収支計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

単位(円)

科目	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
会費収入	0	-50,000	50,000
会員外資料費収入	0	0	0
ヘルパーブック販売収入	0	0	0
受取利息	500	6,127	-5,627
収入合計(A)	500	-43,873	44,373
II 支出の部			
ヘルパーブック仕入代金	0	0	0
消耗品費	20,000	5,396	14,604
印刷製本費	130,000	0	130,000
通信費	50,000	71,170	-21,170
情報宣伝費	100,000	87,630	12,370
研修費	130,000	8,866	121,134
会議費	30,000	0	30,000
交通費	0	0	0
諸会費	10,000	15,000	-5,000
支払報酬料	66,000	66,000	0
支払手数料	10,000	19,622	-9,622
租税公課	0	0	0
減価償却費	0	0	0
予備費	500,000	30,000	470,000
支出合計(B)	1,046,000	303,684	742,316
当期収支差額(C) = (A) - (B)	-1,045,500	-347,557	-697,943
前期繰越収支差額(D)	6,229,235	6,229,235	0
次期繰越収支差額(E) = (C) + (D)	5,183,735	5,881,678	-697,943

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度末	前年度末	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	5,887,678	6,233,318	-345,640
貯蔵品	0	0	0
前払費用	0	0	0
未収入金	0	0	0
流動資産合計	5,887,678	6,233,318	-345,640
2 その他固定資産			
器具及び備品	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	5,887,678	6,233,318	-345,640
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,000	0	6,000
前受金	0	0	0
仮受金	0	0	0
預り金	0	4,083	-4,083
流動負債合計	6,000	4,083	1,917
負債合計	6,000	4,083	1,917
III 正味資産の部			
前期繰越正味資産	6,229,235	6,229,235	0
当期正味資産増加額	-347,557		-347,557
正味資産合計	5,881,678	6,229,235	-347,557
負債及び正味資産合計	5,887,678	6,233,318	-345,640

財産目録

2026年3月31日現在


(単位:円)


科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金 (現金)	19,361
現金預金 (当座預金) ゆうちょ銀行 019支店	1,287,145
現金預金 (普通預金) ゆうちょ銀行 018支店	4,581,172
流動資産合計	5,887,678
資産合計	5,887,678
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	6,000
流動負債合計	6,000
負債合計	6,000
III 正味資産の部	
差引正味資産	5,881,678
正味資産合計	5,881,678
負債及び正味資産合計	5,887,678

令和 8 年 6 月 15 日

世田谷区介護サービスネットワーク
代表 徳永 宣行 様

世田谷区介護サービスネットワーク

監事 寺田 勝彦 

監事 木本 義彦 

監 査 報 告 書

私たち監事は、世田谷区介護サービスネットワーク（介護事業者連絡会）規約第10条2項の規定に基づき、令和7年度における世田谷区介護サービスネットワークの事業及び会計について監査致しましたので、その結果について以下のとおり報告いたします。

記

1 監査の対象

(1) 令和7年度世田谷区介護サービスネットワーク事業報告書および財務諸表

①事業報告書

②財務諸表

ア 収支計算書

イ 貸借対照表

ウ 財産目録

(2) その他の証書および帳票類

2 監査の結果

(1) 会計帳票は、記載すべき事項を正しく記載し、収支計算書および貸借対照表の記載と合致しているものと認めます。

(2) 収支計算書および貸借対照表は、財産、事業活動および資金収支の現状を正しく示しているものと認めます。

令和8年度 事業計画及び予算について

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

1. 事業方針

介護保険制度の開始から25年が経過し、介護現場を取り巻く環境は激変を続けている。昨年度、本ネットワークは「情報発信を中心とした活動への転換」と「会費の無償化（繰越金の活用）」へと舵を切り、より多くの事業所が参加しやすい基盤を整えた。今年度もこの方針を継続し、会員事業所間のネットワークと行政・関係機関との連携をさらに強固にしていく。特に今年度は、「処遇改善に伴う報酬改定への対応」「深刻化する人材不足と物価高・人件費高騰への対策」「頻発する自然災害への備え」が最優先課題である。本ネットワークの強みである情報発信と連携力を活かし、会員事業所がこの難局を乗り越え、地域で持続可能な介護サービスを提供できるよう、以下の3つの重点目標を掲げて活動を展開する。

2. 重点目標

今年度は以下の3項目を重点目標と定め、各部会及び委員会活動を計画する。

- (1) 報酬改定への円滑な対応と、物価高における健全運営の支援
- (2) 行政・地域と連携した、介護人材の確保と定着の強力な推進
- (3) 地域・行政と一体となった、実効性のある災害対策（BCP）の具体化

3. 事業計画

運営委員会、各小委員会及び各部会を年間計画に沿って企画運営する。会員数の拡大を図るとともに、繰越金を活用して会員への利益を図る

1) 総会：年1回

今年度は集合とオンラインでのハイブリット形式として、令和8年6月26日(金)に開催する。

2) 運営委員会：

定期運営委員会を月1回開催する。また必要に応じて臨時運営委員会を開催する。

会議はオンライン会議を中心にハイブリットなどの集合型も再開できるようにする。

3) 小委員会の設置及び活動：

地域部会調整小委員会、広報・渉外小委員会、災害対策小委員会の3小委員会を設置し、以下の活動を行う。なお開催数は小委員会ごとに決定する。

① 地域部会調整小委員会

(ア) 世田谷、北沢、玉川、砧、烏山の各地域部会の運営のサポートを行う。

(イ) 部会と講演会の共同企画・運営を行う。

② 広報・渉外小委員会

(ア) ホームページの情報更新、企画・運営を行う。

(イ) 会員章を作成する。

(ウ) 毎年 11 月に発行予定の介護サービス事業者ガイドブック（ハートページ）の監修を行う。

③ 災害対策小委員会

(ア) 世田谷区と締結している、災害時協力協定の見直し改定を検討する。

(イ) 世田谷区との災害時連携、地域との連携等ワークショップ形式で行う

4) 課題別部会の活動

「研修グループ」「せたがや通所連絡会」、「せたがや訪問介護連絡会」及び「せたがや福祉用具連絡会」の 4 つ課題別部会にて活動を行う。現場で役立つ研修、学習会、講演会、福祉用具展示会等を企画、実施する。

① 研修グループ

世田谷区福祉人材育成・研修センターが開催する研修へ参加協力をする。

昨年度より管理者向け連続講座の開催窓口として、会員有志協力のもとで開催継続している。

② せたがや通所連絡会

今年度はインターネット交流会を定期的に企画し、緩やかな参加、退席自由形式で行う事で自由な参加、自由な討論の場を設け、活動の新たな展開を図りたい

③ せたがや訪問介護連絡会

会員相互の情報共有や意見交換を一層充実させ、区への提言につながる仕組みを強化する。これにより、訪問介護サービスの標準化と、共通課題の解決に会員が協働して取り組める環境づくりを目指す。情報発信や共有の効率化を図ることで、会員にとって実感できるメリットの提供に努める。また、参加しやすく学びのある幹事会運営を行う。あわせて、多職種との連携を深める取組を推進し、地域全体で質の高い支援が提供できる体制づくりに寄与する。さらに、訪問介護員が気軽に参加できる交流の機会やイベントを企画し、会員同士のつながりの強化と、現場の声を活かした活動の活性化を図る。以上の施策を軸に、状況に応じて柔軟に事業を推進する。

④ せたがや福祉用具連絡会

せたがや福祉用具連絡会は福祉用具専門相談員の資質向上、福祉用具の普及啓発活動、新しい福祉用具に関する情報の共有、医療職・介護職等との連携強化に取り組む。

(ア) 福祉用具の使用法習熟のための研修を開催する。

(イ) 介護関係者等を対象とした福祉用具の出張研修を開催する。

(ウ) おしごと相談会での福祉用具紹介や小中学校での福祉用具体験に参加予定。

5) 地域部会の活動

各地域部会でのイベント開催や交流会など、顔の見える関係ができるような活動を行う。

- ① 世田谷地域部会：管理者向け連続講座開催の支援を継続、災害対策推進
- ② 北沢地域部会：ミニ講座の実施、事業所交流会、スマホ相談会、北沢食堂(交流会)
- ③ 玉川地域部会：交流会など
- ④ 砧地域部会：ご近所フォーラム協力
- ⑤ 烏山地域部会：交流会など

6) その他の活動

当会の運営で新たな課題等が発生した場合は、運営委員会にて協議し、総会で報告する。

7) 予算計画

令和8年度予算(案)

科目		単位(円)			摘要
		予算額	前年度予算額	増減	
I 収入の部					
会費収入	小計	0	0	0	
		0	0	0	会費徴収なし
		0	0	0	
その他収入	小計	5,000	500	4,500	
				0	
				0	
				0	
		5,000	500	4,500	受取利息
前期繰越金		5,881,678	6,229,235	-347,557	
収入合計		5,886,678	6,229,735	-343,057	
II 支出の部					
ヘルパーブック仕入れ代金	小計	0	0	0	
				0	
災害マップ仕入れ代金	小計	0	0	0	
				0	
消耗品費	小計	20,000	20,000	0	
		20,000	20,000	0	運営委員会
印刷製本費	小計	60,000	130,000	-70,000	
		20,000	20,000	0	運営委員会
		20,000	20,000	0	渉外小委員会
		20,000	90,000	-70,000	訪問介護連絡会
通信費	小計	80,000	50,000	30,000	
		80,000	50,000	30,000	運営委員会
		0	0	0	
情報宣伝費	小計	100,000	100,000	0	
		30,000	30,000	0	運営委員会
		30,000	30,000	0	訪問介護連絡会
		10,000	10,000	0	福祉用具連絡会
		30,000	30,000	0	地域部会調整委員会
会議費	小計	30,000	30,000	0	
		10,000	10,000	0	運営委員会
		20,000	20,000	0	地域部会調整委員会
		0	0	0	
研修費	小計	130,000	130,000	0	
		10,000	10,000	0	福祉用具連絡会
		30,000	30,000	0	地域部会調整委員会
		90,000	90,000	0	訪問介護連絡会
業務委託費	小計	50,000	50,000	0	
		50,000	50,000	0	運営委員会
		0	0	0	広報小委員会
諸会費	小計	10,000	10,000	0	
		10,000	10,000	0	運営委員会
支払手数料	小計	10,000	10,000	0	
		10,000	10,000	0	運営委員会
支払報酬料	小計	66,000	66,000	0	
		66,000	66,000	0	運営委員会
租税公課	小計	0	0	0	
		0	0	0	
減価償却費	小計	0	0	0	
		0	0	0	
予備費	小計	500,000	500,000	0	
		500,000	500,000	0	運営委員会
次期繰越金		5,030,678	5,333,735	-303,057	
支出合計		6,086,678	6,429,735	-343,057	

議案第3号

令和8年度 運営委員(役員)、監事及び会計担当者について

順不同

(○印：役員候補)

委員(役員)	氏名	事業所名	選出部会名	役員候補者
運営委員	徳永 宣行	ナイスケア世田谷介護センター	研修グループ	
運営委員	菊本 浩三	タガヤセ大蔵デイ	通所連絡会	
運営委員	磯崎 寿之	ほほえみの木々	研修グループ	
運営委員	山口 慶恵	山口ケアサービス	訪問介護連絡会	
運営委員	市川 裕	サピエンスヘルパーセンター	訪問介護連絡会	
運営委員	柴田 剛宏	リハビリテーションGEN。	通所連絡会	
運営委員	丸茂 典子	りまいん世田谷	福祉用具連絡会	
運営委員	糸谷 和司	トーカイ東京支店	福祉用具連絡会	
運営委員	丸山 幸	みのりの庭 世田谷	世田谷地域部会	
運営委員	上保 恭子	すまいる梅丘	世田谷地域部会	
運営委員	水口 博幸	梅ヶ丘駅前介護保険サービス	北沢地域部会	
運営委員	小林 真介	個人会員	北沢地域部会	
運営委員	佐伯 正和	ヒューマンケア	玉川地域部会	
運営委員	南部 恵美子	玉川ケアサービス	玉川地域部会	
運営委員	石川 容道	バイタル訪問鍼灸マッサージ	烏山地域部会	
運営委員	後藤 里香	そよかぜ訪問看護ステーション上北沢	烏山地域部会	
運営委員	冨樫 恵	世田谷区社会福祉事業団		

※本会規約 第11条第3項の定めにより運営委員並びに会計担当者の任期は2年間（令和10年度総会迄）とする

監事	木本 義彦	世田谷区福祉人材育成・研修センター	事務局	
監事	寺田 勝彦	健康生活サポートセンター	(なし)	